

シグマ委員会荷電粒子核データWG
加速器遮蔽SWG第2回会合議事録(案)

日時 : 平成4年11月13日(金) 13:30~17:30
場所 : 原研東海研究所 研究2棟221号室
出席者 : 村田(東芝)、岸田、福本(CRC総研)、山野(住友原子力)、
水本、高田、千葉、深堀(原研)

(敬称略、順不同)

I. 配布資料

- (1) SWG第1回会合議事録(案)
- (2) Uに関するTTYデータの資料(高田委員)
- (3) A1に関するTTYデータの資料(水本委員)
- (4) Cに関するTTYデータの資料(村田委員)

II. 議事

1. 前回議事録確認

配布資料(1)により前回会合の議事録の確認を行った。

2. TTYデータの格納状況及びまとめ方

各委員より配布資料(2)~(3)も含めたTTYデータの格納状況の報告が行われた。Feは終了、Pbは殆ど格納された。その他のデータに関しては現在終了している分を核データセンターに送付する事とし、残りの部分は外注により格納する事とした。格納に関して以下に示す事を確認した。

- ・断面積データ及び同位体生成TTYデータに関しては論文中にあっても格納しない。
- ・入射エネルギーの上限は無くす。
- ・Cierjacksのデータは数表になっている(Jul-1960, KfK-3779)ので、図からではなくこの表からデータを取る。
- ・ (α, n) 反応の低エネルギー部分は松延氏が既に持っている可能性があるの確認する。

EXFOR形式での格納後のまとめ方について、NEAデータバンクへ送付する、JAERI-Mにデータブックとして出すなどの提案が行われた。これに関しては、格納後プロット図を作成した時点で、この結果と共に検討する事とした。

3. 今後の活動について

今後の活動計画に関して次のような事を確認した。

- ・TTYの系統性などの格納データの用法は遮蔽グループへ引き継ぐ。
- ・断面積の測定を含むデータ生成の要求を整理する。これに関してWRENDAや測定の可能性のある装置を考慮する。
- ・中高エネルギーの評価はこのグループが取り扱う事を提案する。これに対して委員会全体の効率を考慮すべきだとの意見も出た。

4. その他

評価済核データからTTYへの変換プログラムの仕様について山野委員から報告があった。

平山氏が提案しているKEKの共同実験に関して深堀委員がコメントを送付する。

高エネルギー核データの評価の体制について深堀委員が資料を作成する。